令和８年度　学校努力点

１　本校における学校努力点の設定

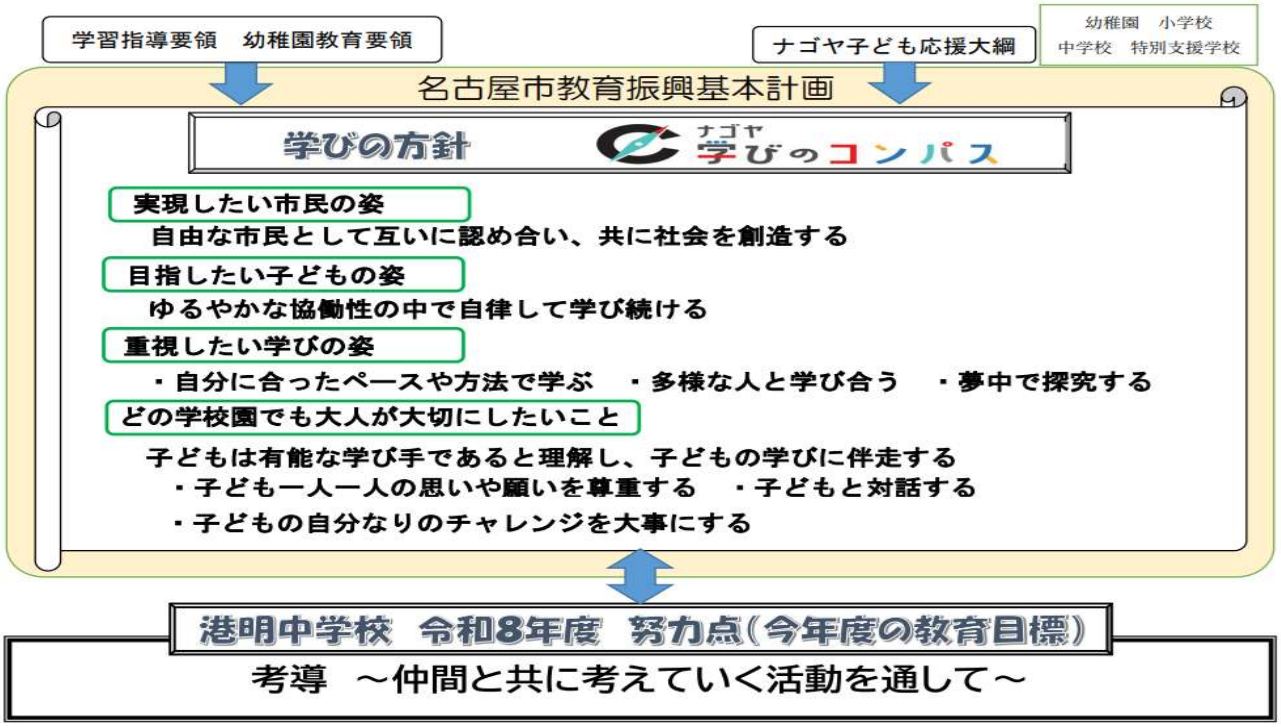
名古屋市教育委員会により「ナゴヤ学びのコンパス」が策定されている。これは、名古屋市の全ての子どもが学びを通して自分らしく、幸せに生きていくことができるよう子ども観の転換を図り、「子ども中心の学び」を幼児期から青年期まで一貫して大切にし、自律して学び続ける子を育成することを目指したものである。この中で、「目指したい子どもの姿」を『ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける』とし、「重視したい学びの姿」を『自分に合ったペースや方法で学ぶ』『多様な人と学び合う』『夢中で探求する』と位置付けられている。そして、これらを踏まえた努力点を設定し推進するとともに、学校教育の一層の活性化を目指して改善を図ることが求められる。

本校では、昨年度、様々な面で基礎・基本の定着に向けて教職員が生徒の手本となって活動していくことで、自ら考え、自分自身の目指す姿を導き出せるような生徒を育成に向けて取り組んできた。行事等での体験活動や教育活動においては、様々な創意工夫を行い、生徒が主体となって課題を見付け、解決をしながら、自分なりの目標をもって自身を高めていく姿が見られるようになってきた。一方で、学習面においては、ＩＣＴを活用した授業や学び合い、補充的学習などによって、前向きな態度で学習に取り組むことができるようになってきているものの、十分な学力の定着には至っておらず依然として課題が残る。

学校評価アンケートでは、学習面や生活面において、基礎・基本の定着（基礎学力や挨拶、時間を守る）が身に付いていると感じている割合は、昨年度より増加しているものの、不十分さを感じている生徒・保護者も少なくない。特活面においては、生徒・保護者ともに比較的高い評価を得られた。

これらのことを踏まえ、令和８年度は、引き続き、様々な面で基礎・基本の定着に向けた活動をしていくことに加え、仲間と共に考えていく活動を取り入れることで、自ら考え、自分自身の目指す姿を導き出せるような生徒を育成し、よりよい学校づくりを目指す。

＜令和８年度学校教育の努力目標図＞



２　努力点の実現に向けて

努力点の実現に向けて、各場面で身に付けさせたい態度や力を、以下のように位置付ける。

【学習指導部】

「日々の授業において、仲間との学び合いを通して、自分の学びを深めていく生徒」

・　基礎的・基本的な学力の習得と定着
・　学習習慣の定着
・　課題を見付け把握し、主体的に学ぼうとする態度の育成
・　自分なりの考えをもち、互いに考えを伝え合い、課題解決に向かう力の習得
○　必要な知識・技能の反復練習（授業での帯活動の実施、港明タイムや授業後の活動の工夫）の充実や各種基礎学力コンクールの実施
○　日々の授業時の課題や進路学習教材の実施
○　「めあて」を明確にし「見通す」「実行する」「振り返る」のプロセスを意識させられる授業展開と全ての生徒が夢中になって学べる教材や指導過程の工夫
○　ＩＣＴの効果的な活用による主体的・対話的な学び合い活動の実施

【生徒指導部】

「互いの努力とその結果を認め合い、ともに成長することができる生徒」

・　挨拶ができ礼儀正しさをもち行動できる態度の育成
　※　授業の開始時・終了時の挨拶の徹底、廊下での挨拶、ＴＰＯにあわせた挨拶
・　正しいマナーやルールを身に付けて行動する態度の育成
・　思いやりの心をもち、互いを尊重できる態度の育成
・　善と悪を見極めることができる正しい判断力の習得
○　登下校時や校内外での規範意識をもたせるための継続的な声掛け
○　自他の生命や安全を守るための目的や意味(なぜ)を主体的に考えさせる場面の設定
○　生徒一人一人の気持ちに寄り添うことを基本とした生徒理解
○　何気ない生活場面での言動を見逃さないリアルタイムの指導と情報共有

【特活指導部】

「学校行事等において、主体的に考え、仲間と協力しながら活動することができる生徒」

・　楽しく、積極的に学校行事に参加する態度の育成
・　仲間と協力し、一つのことを成し遂げる態度の育成
・　学んだ知識や経験を生かし、学校をよりよくしようとする思いを体現する力の習得
○　創意工夫しながら主体的に活動できる取り組み
　※　音楽会でパートリーダーや指揮者・伴奏者が中心となった練習の工夫
　※　マスゲームで実行委員が中心となった演目の構成や練習の工夫
　※　各学年で総務委員が中心となって学年の団結を図るための企画・運営
○　委員会活動や集会の充実
　※　「何のためにやるのか」「活動を通して目指す集団像は何か」を明確化

【保健指導部】

「基本的な生活習慣を身に付け、健康に留意しながら生活することができる生徒」

・　規則正しい生活(早寝・早起き・朝ご飯)を意識しながら生活する態度の育成
・　感染症予防を意識しながら生活する態度の育成
○　基本的な生活習慣の定着に向けた啓発ポスターの制作、掲示
○　保健講演会を実施するなど、健康やいのち、性に関する知識の構築